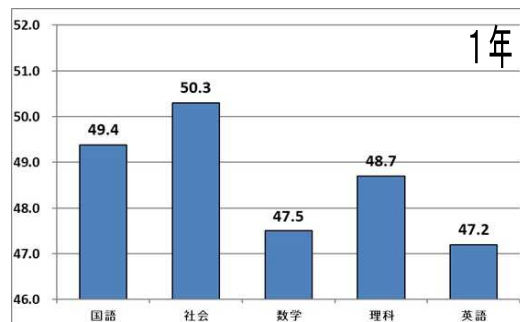
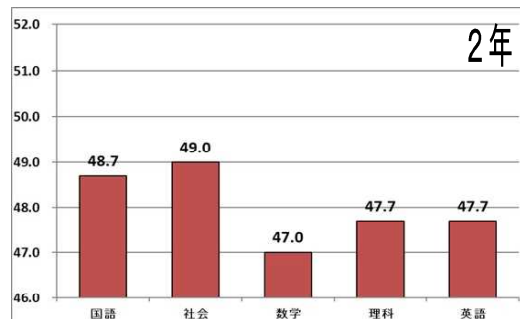
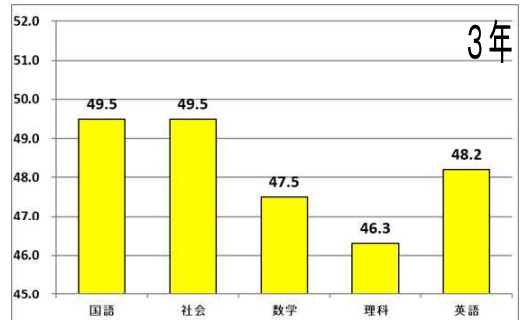




標準学力検査NRTの結果が返ってきました

4、5月に実施した標準学力検査NRTの結果が全学年返ってきました。昨年度の学習内容をどれくらい理解しているのかをみるためのテストでしたが、ほとんどの教科が全国平均を少し下回るという結果でした（右のグラフは、全国平均を50と考えたときの各教科の偏差値を表しています）。現在、各教科ごとに本校の課題を分析しているところですが、夏休み中には2学期以降の対策を検討し、授業に活かしていきたいと思います。そして、今年度中に生徒たちの学力をどこまで伸ばすことができるのかが本校の課題だと考えています。

ただ、それとともに大切なのが生徒個々に関する分析です。個別に結果を見てみると、多くの生徒が得意教科（分野）、苦手教科（分野）を持っていることが分かります。生徒たちは得意教科（分野）を中心に勉強したり、授業もより集中して頑張る傾向がありますので、苦手教科（分野）にも目を向けさせることが大切です。学校でも、教科担任や学級担任が指導していきたいと考えていますが、ご家庭でも人生の先輩として子どもたちによきアドバイスをしてやっていただければと思います。



頑張ろうという気持ちを行動に～学期末懇談を終えて～

昨日で1学期末懇談が終わりました。生徒たちの多くは、おそらく懇談後に「これからは頑張ろう」という気持ちになったと思います。特に受験を前にした3年生は、そんな思いが1、2年生よりも強かったと思います。ところが、いざ家に帰ってみると思ったように行動にうつすことができないという人がいます。「頑張らないといけないのは分かっているのに頑張れない」タイプの人です。もし、お子様がこのタイプの場合、子どもに対してただ「勉強しろ」と叱ってばかりでは決してプラスになりません。せっかくの頑張ろうという気持ちまでどこかに消えてしまいます。もし、できるならば、お子様と一緒に悩み、

どうすればいいのかを考えてみてやってください。「頑張らなければ」という気持ちはあるのですから…。



日々の学校生活の様子はホームページでチェックしてください。

<https://www.torikyo.ed.jp/yurihama-j/>

